

北条を襲った



倒れた塀（東条）



下水マンホールと陥没した歩道(深沢)



巨大なエネルギーが... (中村交差点)



地震発生直後に陥没した県道(旧広田)



避難所から学校へ
枕もとにはランドセルが



長かった避難所生活も今日で終わり



ばあさん、家に帰ろうや



城山「北条城跡碑」も被害に(四日町)

避難者の声

小さな子ども二人を連れて避難した。安全な体育館はとにかく寒く、子どもは風邪をひいてしまった。しかし、大人たちの心配をよそに、友達と泊まれることを喜んでいたら。避難所対応市職員のお世話に感謝。

(南小学校 I さん 女性 34 歳)

中学校の体育館は建てたばかりなので絶対安全だと信じていたが、二階なので揺れは大きかった。冷えを防ぐためのホッカイロのやり取りに人の温かみを感じた。ただ、柏崎の震度や被害がテレビやラジオに流れなかったことはおかし。

(北条中 H さん 女性 60 歳)

家内と二人で九日間も避難所に世話になった。ボランティアやコミセン事務局、避難所対応市職員に大変親切にしてもらった。ありがとうございました。ちょっと不自由だったことは、仮説トイレに手すりがないことが年寄りにはこたえた。

(コミセン H さん 男性 77 歳)

五日間、三世代六人がお世話になった。一日目から、体育館より三教室へ移動となった。教室は仕切りがあるので暖かく、助かった。車の二次災害防止に、危険道路に標識の設置や駐車場の整備などをみんなで協力して行った。非常時は一致協力です。

(北小学校 N さん 男性 38 歳)

あの揺れの最中、公会堂の広場にテントを張り、その周りを囲んだ。区長さんや役員は大変だった。発電機を持ってきてくれた人がいて助かった。漬物やおかずを持ち寄り、励ましあいながら食事をとった。すばらしい団結だった。

(太田公会堂 N さん 女性 69 歳)

体が不自由な連れ合いとワゴン車の中へ、若い者は小型車で避難した。とにかく連れ合いを車に乗せるまでが大変だったが、回ってきた消防団員に手伝ってもらった。「地獄に仏」とはこのことだと思った。本当にありがとうございました。

(車中で I さん 女性 83 歳)